

令和5年度

大阪府中学生チャレンジテスト
結果概要(第1・2学年)

柏原市教育委員会

1. 調査目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (3) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (4) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (5) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2. 調査概要

- (1) 調査日 令和6年1月10日(水)
- (2) 対象学年 中学校 第1・2学年
- (3) 調査内容 第1学年 : 国語・数学・英語・アンケート調査
第2学年 : 国語・社会・数学・理科・英語・アンケート調査
※アンケート調査はオンライン方式で実施。

※調査問題・結果資料は、大阪府ホームページ内に掲載されています。

調査問題(R5) :

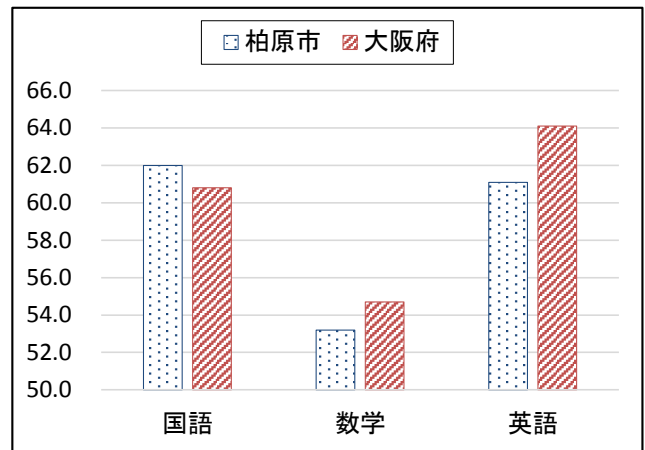
https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/challenge_05_mondai.html

結果資料(R5) :

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r05challenge-kekka.html>

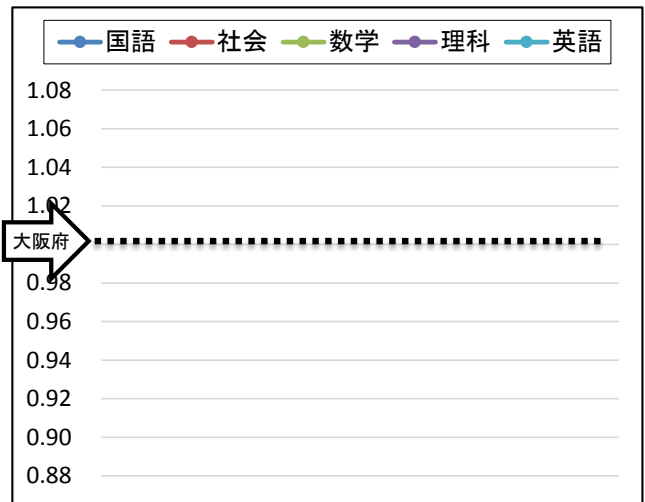
① 各教科の平均点

	柏原市	大阪府	差(市-府)
国語	62.0	60.8	1.2
社会			
数学	53.2	54.7	▲ 1.5
理科			
英語	61.1	64.1	▲ 3.0



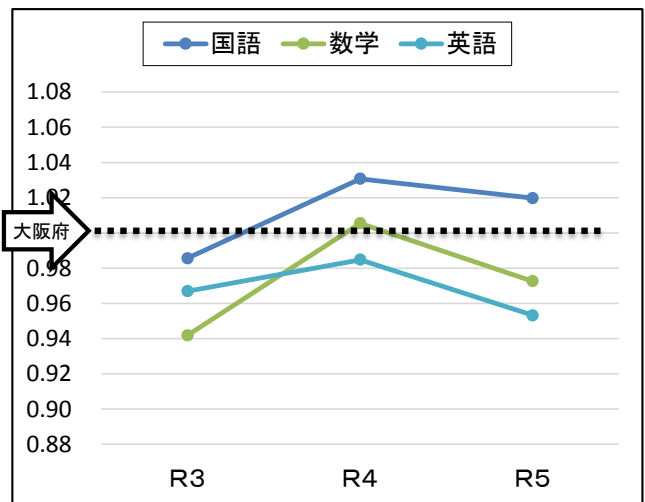
② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

国語			
社会			
数学			
理科			
英語			



③ 前年度までの1年生との比較(対大阪府比)

	R3	R4	R5
国語	0.99	1.03	1.02
社会			
数学	0.94	1.01	0.97
理科			
英語	0.97	0.98	0.95



① 各教科の平均点

- 国語は、府の平均点を1.2点上回った。
- ▼数学・英語は、府の平均点を下回った。特に英語は、3.0点下回った。

② 同一集団の経年変化(対大阪府比) ※1年生のため分析なし

③ 前年度までの1年生との比較(対大阪府比)

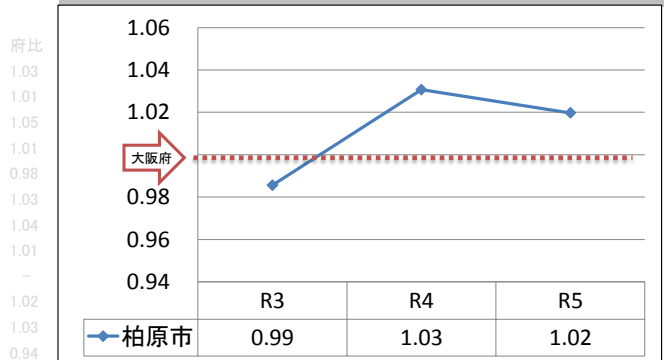
- 国語は、昨年度と同等であった。
- ▼数学・英語は、昨年度よりも数値が低下した。特に数学は、0.04ポイント低下した。

	平均点
柏原市	62.0
大阪府	60.8

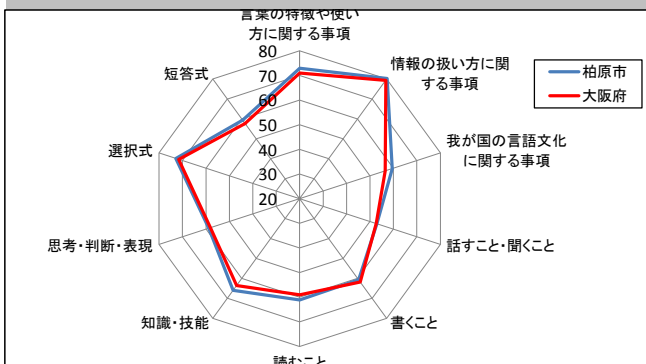
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.9	71.0
		情報の扱い方に関する事項	80.3	79.4
	思考力・判断力・表現力等	我が国の言語文化に関する事項	59.5	56.5
		話すこと・聞くこと	52.9	52.6
		書くこと	60.7	61.9
評価の観点	知識・技能	61.1	59.1	
	思考・判断・表現	66.0	63.6	
	主体的に学習に取り組む態度	58.8	58.1	
問題形式	選択式	—	—	
	短答式	15	72.8	71.7
	記述式	14	59.4	57.7
		2	19.3	20.5

◆前年度までの1年生との比較(対大阪府比)



◆領域別等のレーダーチャート

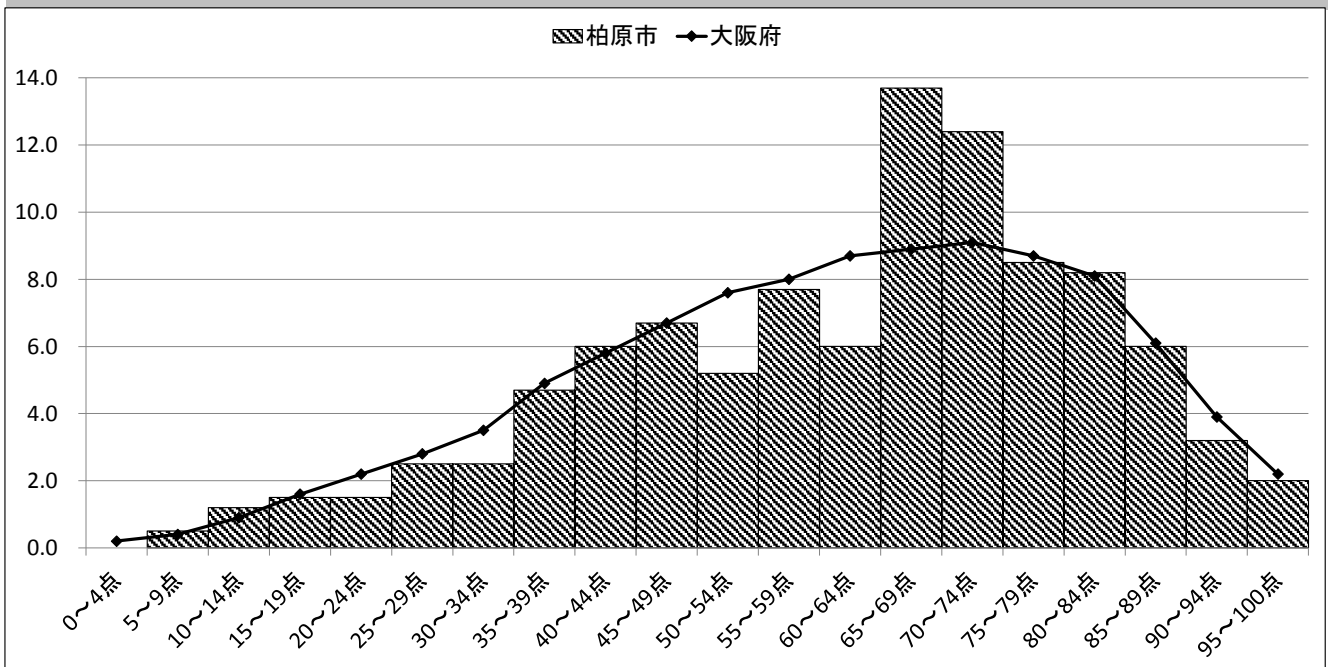


◆特徴的な傾向

○全体の平均点は、1.2点府を上回っている。
 ○多くの区分において得点率が府を上回っている。特に、「我が国の言語文化に関する事項」の領域で3.0ポイント、「知識・技能」の観点で2.4ポイント上回っている。
 ○得点別分布では、40点未満の割合が府より小さい。
 ▼「書くこと」の領域、「記述式」の問題において、得点率が大阪府を下回っている。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高く、無解答率が低い問題

問題番号	五	5	(1)
問題の概要	会話文中の空欄に入る適切な言葉を本文中から抜き出す		
出題の趣旨	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる		
領域	我が国の言語文化に関する事項/読むこと	評価	知識・技能 思考・判断・表現
		形式	短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	59.7	20.4
大阪府	53.4	26.7

正答例 それではやねがおちますが

(1) 【会話の一部】中の A に入る適切な言葉を本文中から十三字で抜き出さない。

春山さん このお話は、「ある人が一本の柱をじやまた言ったところから始まっているね。」
夏川さん そうだね。亭主はその人の言葉に同意して、その柱を取らせてしまったんだ。
春山さん でも、亭主が「その次の柱も、そのあちのはしらも、この角のはしらも、此はしらも御とりあれ」と言ったことに対して、大工は「A」と言ったんだね。
夏川さん そうだよ。そして、その話の続きに B ということが書かれているね。当たり前前に気づいていなかったんだね。

【会話の一部】

5 次は、本文の内容について、中学一年生の春山さんと夏川さんが交わした【会話の一部】です。これを読んで、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

問題の文章については、著作権者への配慮から掲載を控えています。

▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	四	5
問題の概要	案内文の下書きに必要な項目の名称を書く	
出題の趣旨	案内文に必要な項目(情報)を理解して書くことができる	
領域	書くこと	評価
		思考・判断・表現
		形式
		短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	37.1	9.0
大阪府	44.4	8.9

▼正答率が低く、無解答率が高い問題

問題番号	四	6
問題の概要	ポスターの下書きに関するアドバイスを書く	
出題の趣旨	読み手の立場にたって、文章を整えることができる	
領域	書くこと	評価
		思考・判断・表現
		形式
		記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	23.4	26.4
大阪府	25.5	29.2

条件1 「ポスターの下書き」中の問題点を指摘すること。
条件2 条件1で指摘した内容の具体例を二つあげ、どのように書きかえればよいかを具体的に説明すること。
条件3 前後の文脈に合わせて、二十字以上、五十字以内で書くこと。

5 【案内文の下書き】と「ポスターの下書き」中の B に入る適切な言葉を漢字で書き出さない。

6 同田さんは、「ポスターの下書き」中の A 欄について、友だちの細川さんからアドバイスをもらい、あの「書きかえた文」のように書きかえたい。細川さんは、どのようなアドバイスをくれたのか、あとの「細川さんのアドバイス」中の B に入る適切な内容を、あとの条件にしたがって書き出さない。

【ポスターの下書き】中の文

「書きかえた文」

清掃用具は、当日配布します。

【細川さんのアドバイス】

ポスターを通して呼びかける相手のことを考えて、小学校低学年の人たちにもわかるようにすることが必要ですね。まず、漢字にふりがなをつけたいと思います。また、今の「ポスターの下書き」中の文では、

とよいと思います。

小学生のみなさんへ

竹里海岸クリーン活動に参加しませんか

B

令和5年11月11日(土)
9:30~11:00ごろ

連絡場所
竹里海岸前広場

わたしたちの町には竹里海岸がありますが、たくさんのごみがあり、海への生きものたちがまっています。海への生きものたちを守るためにごみを拾い、きれいにすることが必要です。
小学生のみなさん、わたしたちといっしょにそうじをしませんか、よければ参加してください。よろしくお願ひします。

持ち物
清掃用具は、当日配布します。

用のおしり
席で禁止にするときは、朝の8時までに竹里中学校のホームページでお知らせします。

注意
参加するときは、家の人と相談し、大人といっしょに参加してください。

令和5年10月13日

竹里中学校生徒会

地域の皆様

「竹里海岸クリーン活動」のご案内

A 皆様、いかがお過ごしでしょうか。いつも私たちの学校をご支援くださり、ありがとうございます。さて、私たちの町にある竹里海岸には、残念ながら多くのごみがあり、環境への影響が心配されます。竹里海岸をきれいな状態にするためには、まずたくさんあるごみを無くすることが大切だと考えたので、私たちは、下記のとおり「竹里海岸クリーン活動」を実施することになりました。つきましては、私たちの清掃活動に協力していただける方を募集します。お忙しいかとおもうけれど、ぜひ参加くださいますようお願いいたします。

記

1 B 11月11日(土) 9:30~11:00ごろ

2 集合場所 竹里海岸前広場

3 内容 海岸清掃

4 当日の流れ 集合・受付 9:30
移動・説明 9:45
清掃開始 10:00

5 その他 清掃用具は、当日配布します。
雨で中止する場合は、当日の午前8時までに本校のホームページでお知らせします。以上

正答例 5 日時

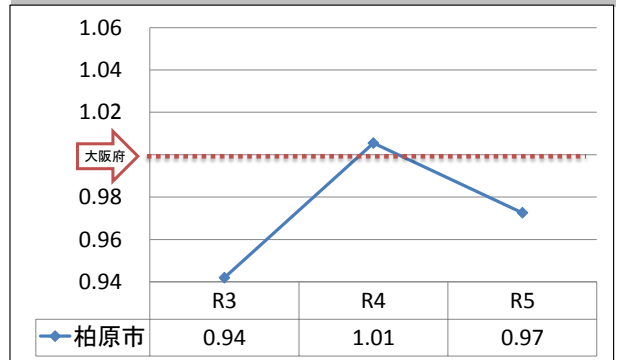
正答例 6 むずかしい言葉があると思うので、清掃という言葉をそうじに変えるなどする

	平均点
柏原市	53.2
大阪府	54.7

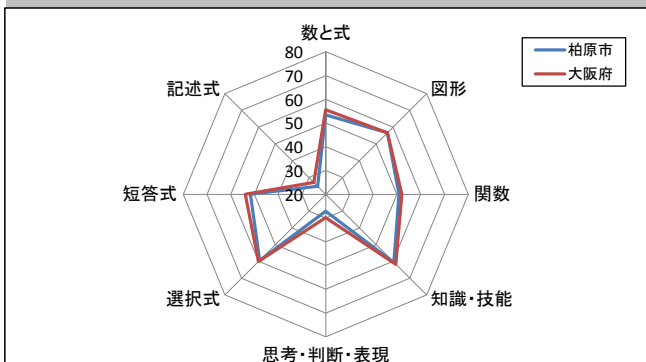
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	数と式	16	53.5	55.6
	図形	6	56.7	56.7
	関数	11	50.9	52.0
	データの活用	—	—	—
評価の観点	知識・技能	26	60.6	61.7
	思考・判断・表現	7	27.1	29.8
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	16	59.4	60.0
	短答式	15	51.7	53.8
	記述式	2	24.8	27.0

◆前年度までの1年生との比較(対大阪府比)



◆領域別等のレーダーチャート

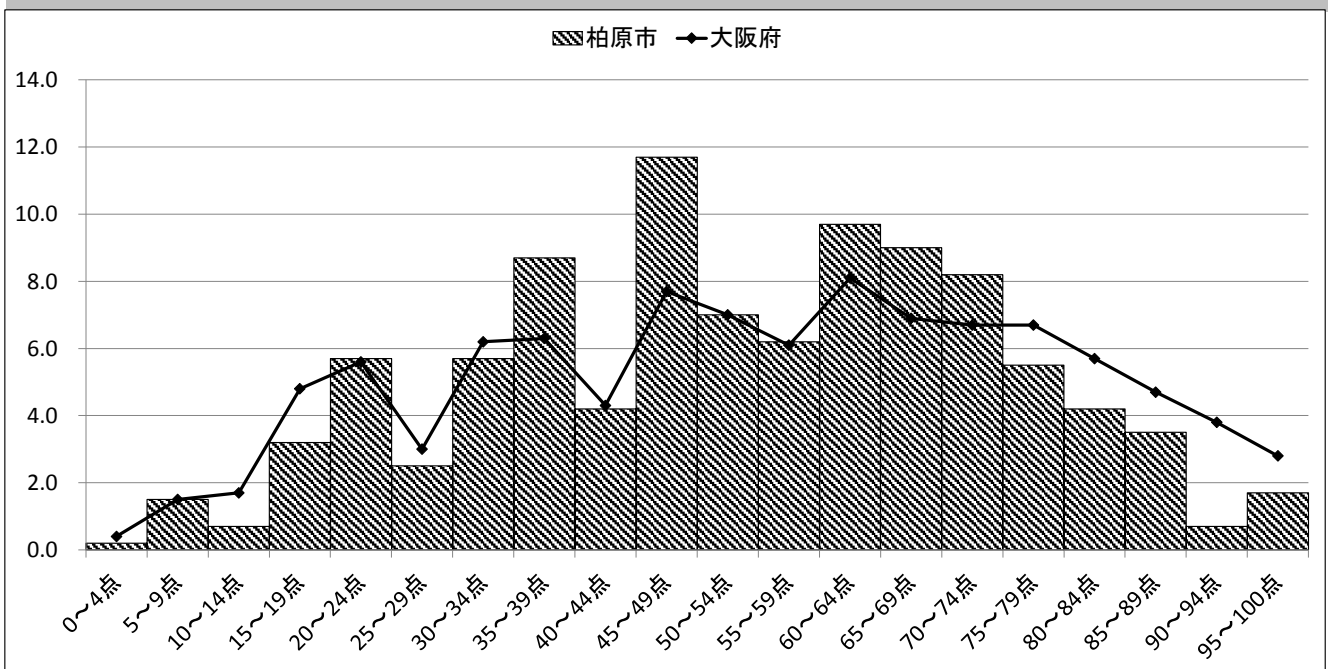


◆特徴的な傾向

- ▼全体の平均点は、1.5点府を下回っている。
- ▼多くの区分において得点率が府を下回っている。特に、「思考・判断・表現」の観点で、得点率が2.7ポイント下回っている。
- ▼得点別分布では、80点以上の割合が府より小さい。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	4	(5)			
問題の概要	比例の表からグラフを選ぶ				
出題の趣旨	比例のグラフの特徴について、表と関連づけて理解している				
領域	関数	評価	知識・技能	形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	72.9	0.7
大阪府	68.6	1.0

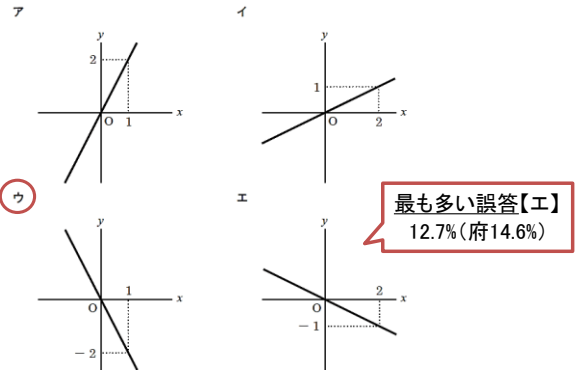
(5) 表1は、 y が x に比例する関係を表しています。

表1

x	...	2	3	4	5	...
y	...	-4	-6	-8	-10	...

次のア～エの中に、表1の x と y の関係を表すグラフがあります。それを1つ選びなさい。

正答例 ウ



▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	4	(1)			
問題の概要	具体的な事象の中から、関数であるものを選ぶ				
出題の趣旨	関数関係の意味を理解している				
領域	関数	評価	知識・技能	形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	22.9	0.5
大阪府	34.6	0.8

(1) y が x の関数であるものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 底辺の長さが x cmの三角形の面積は y cm²である。
- イ x 歳の人の体重は y kgである。
- ウ 周の長さが x cmの長方形の縦の長さは y cmである。
- エ x より1大きい数は y である。

正答例 エ

最も多い誤答【ア】
48.8%(府35.3%)

▼府と比較して正答率が低く、無解答率が高い問題

問題番号	7	(2)	式		
問題の概要	「 n 番目の図形」を作るときに必要なストローの本数を n を使った式で表す				
出題の趣旨	具体的な事象において、数量の関係を捉え、文字を用いた式で表すことができる				
領域	数と式	評価	思考・判断・表現	形式	短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	14.4	29.1
大阪府	22.1	25.3

⑦ あおさんときみさんは、図1のような図形をストローを使って次の手順で作るときに必要なストローの本数を調べることにしました。



(2) 「 n 番目の図形」を作るときに必要なストローの本数を、 n を使った式で表しなさい。また、その式をどのように導いたか具体的に説明しなさい。なお、次のあおさんの考えときみさんの考えを参考にしてもかまいません。

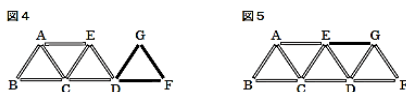
正答例 4n+3

手順

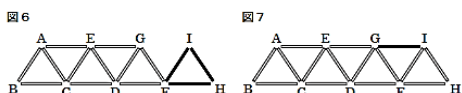
① 図2のように、6本のストローを並べて、三角形ABCと三角形ECDを組み合わせた形にする。次に、図3のように、1本のストローをAとEをつなぐように並べて、できた図形を「1番目の図形」とする。「1番目の図形」を作るときに必要なストローの本数は7本である。



② 図4のように、3本のストローを並べて、「1番目の図形」に三角形GDFを組み合わせた形にする。次に、図5のように、1本のストローをEとGをつなぐように並べて、できた図形を「2番目の図形」とする。「2番目の図形」を作るときに必要なストローの本数は11本である。



③ 図6のように、3本のストローを並べて、「2番目の図形」に三角形IFHを組み合わせた形にする。次に、図7のように、1本のストローをGとIをつなぐように並べて、できた図形を「3番目の図形」とする。「3番目の図形」を作るときに必要なストローの本数は15本である。



④ 以下、同じようにできた図形に4本のストローを加えて次の図形を作る。

あおさんの考え

図8のように、「1番目の図形」を作ったあと、4本のストローを何回加えたかを考えてみる。

きみさんの考え

図9のように、「 n 番目の図形」を三角形の部分とそれ以外の部分に分けて、それぞれの部分に必要なストローの本数を考えてみる。

正答例 説明 (参考)

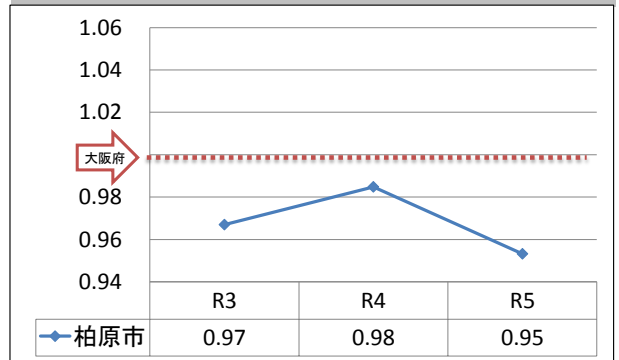
・「1番目の図形」をストロー7本で作ったあとは、4本のストローを $(n-1)$ 回加えると「 n 番目の図形」になるから、必要なストローの本数は $7+4(n-1)=7+4n-4=4n+3$ (本)
 ・「 n 番目の図形」では、三角形の部分で3本を $(n+1)$ 個分、それ以外の部分で1本を n 個分使うとみることができるから、必要なストローの本数は $3(n+1)+n=3n+3+n=4n+3$ (本)

	平均点
柏原市	61.1
大阪府	64.1

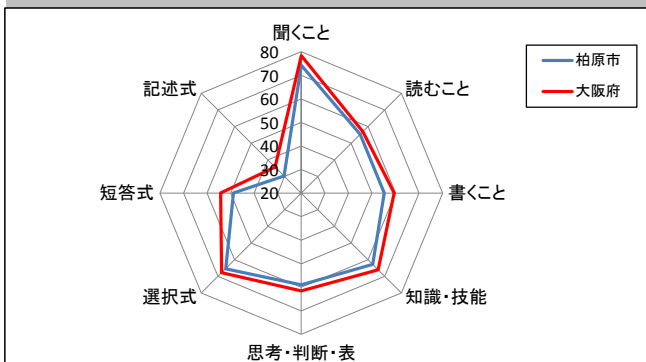
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	聞くこと	15	74.3	78.3
	読むこと	17	55.3	57.0
	話すこと〔やり取り〕	—	—	—
	話すこと〔発表〕	—	—	—
	書くこと	7	55.2	59.4
評価の観点	知識・技能	22	62.8	66.1
	思考・判断・表現	17	59.0	61.5
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	32	65.4	67.8
	短答式	5	48.8	54.3
	記述式	2	30.3	35.7

◆前年度までの1年生との比較(対大阪府比)



◆領域別等のレーダーチャート

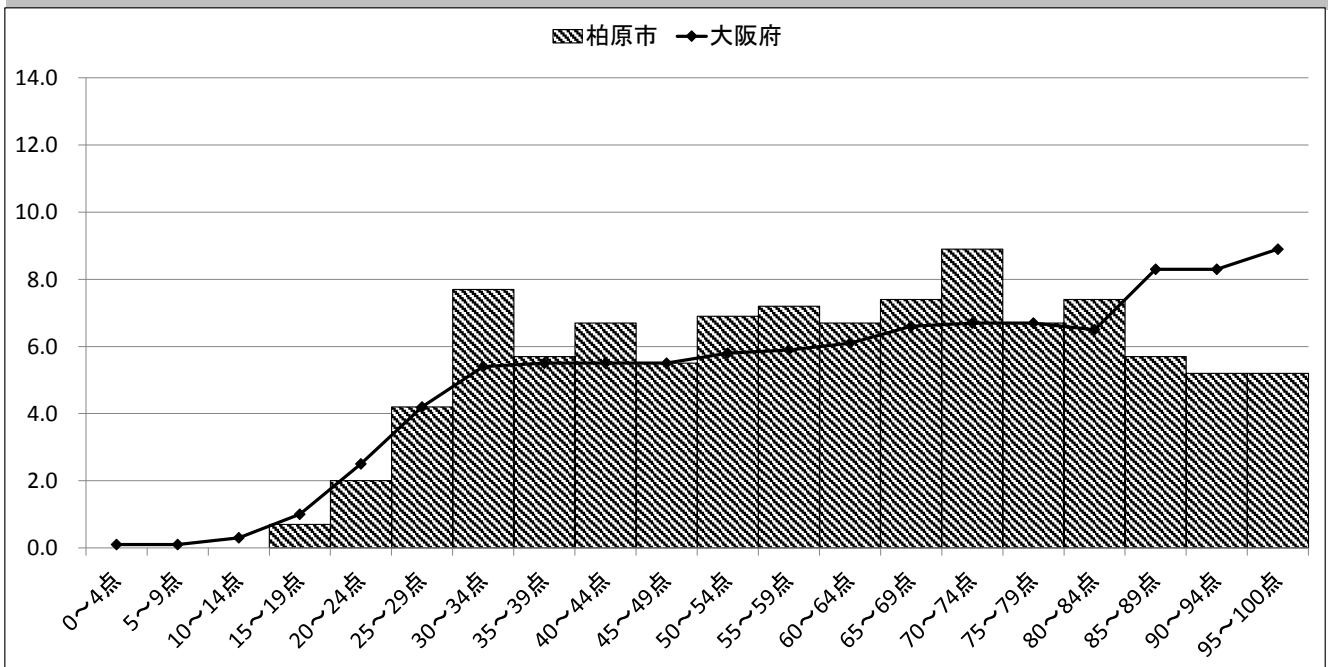


◆特徴的な傾向

▼全体の平均点は、3.0点府を下回っている。
 ▼得点率がすべての区分で府を下回っている。特に、「聞くこと」「書くこと」の領域ではそれぞれ4.0ポイント・4.2ポイント、「知識・技能」の観点では3.3ポイント、「短答式」「記述式」の問題ではそれぞれ5.5ポイント・5.4ポイント下回っている。
 ▼得点分布の割合では、85点以上の割合が府より少ない。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	7	(2)	
問題の概要	会話文を読み、会話文の内容から下線部①thereが意味する内容として適切な答えを選ぶ		
出題の趣旨	日常的な話題についてのまとまりのある会話文を読み、内容の概要と要点を適切に把握することができる		
領域	読むこと	評価	知識・技能 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	84.9	0.2
大阪府	80.6	1.0

▼正答率が最も低く、無解答率が最も高い問題

問題番号	7	(3)	
問題の概要	会話文を読み、会話文の内容から下線部②themが意味する内容として適切な答えを英語5語で抜き出す		
出題の趣旨	日常的な話題についてのまとまりのある会話文を読み、内容の概要と要点を適切に把握することができる		
領域	読むこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	18.6	34.7
大阪府	20.4	32.1

7 アキラ (Akira) とオーストラリア (Australia) からの留学生のトム (Tom) が、2人で訪れるみなみ動物園 (Minami Zoo) について、教室で話をしています。次の【会話文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【会話文】

Tom: Akira, what animals can we see in Minami Zoo?
 Akira: We can see many animals, *for example, bears, pandas, and monkeys. What animals do you like, Tom?
 Tom: I like tigers and horses.
 Akira: We can see tigers and horses in Minami Zoo. And my sister works there *as a vet.
 Tom: Oh, really?
 Akira: She watches the animals in the zoo *carefully. She *cares about the *health of them.
 Tom: That's nice. *In the future, I *want to *be a vet in a zoo. In Australia, I sometimes *join *study programs about animals. Does Minami Zoo *hold a study program about animals?
 Akira: Yes. Minami Zoo holds a study program. We can study about the *behavior of animals in the study program. For example, we can study about the behavior of tigers.
 Tom: I want to join it.
 Akira: *Let's join the study program.

(2) 【会話文】の内容から、【会話文】中の下線部① there が意味する内容として最も適しているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア みなみ動物園で
- イ アキラの学校で
- ウ オーストラリアの動物園で
- エ オーストラリアの病院で

正答例 ア

(3) 【会話文】の内容から、【会話文】中の下線部② them が意味する内容として最も適しているものを、【会話文】中から英語5語で抜き出して書きなさい。

正答例 the animals in the zoo





▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	9	(4)	
問題の概要	会話文を読み、会話文の内容から、At Restaurant Orange, what food can people eat for free at lunch time? という質問に対する適切な答えを選ぶ		
出題の趣旨	表をもとに、日常的な話題についてのまとまった会話文を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	29.3	5.0
大阪府	38.2	5.9

9 ダイキ (Daiki) は、ダイキの住んでいる町にある自分のお気に入りの店 (shop) やレストランをまとめた【表 (table)】を作成し、留学生のマイク (Mike) に紹介しています。【表】と【会話文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【表】

Name of Shops and Restaurants	*Shop Hours	*Regular Holiday	*Memo
 Purple Ice Cream	10:00 ~ 18:00	(①)	On Monday, you can *buy (②) ice cream *at a low price.
 Red Pizza	(③) ~ 24:00	*Open 365 days	You can *take out *many kinds of pizza.
 Restaurant Orange	11:30 ~ 21:00	(④)	You can eat *special curry and rice *at lunch time.
 Restaurant Green	8:00 ~ 18:00	Tuesday	Sandwiches are very *popular.

正答例 イ

【会話文】

Daiki: Look. I *want to *introduce my favorite shops and restaurants to you.
 Mike: Thank you. I like curry and rice.
 Daiki: At Restaurant Orange, you can enjoy the special curry and rice. At lunch time, *people can eat a salad *for free. The regular holiday is Thursday.
 Mike: Good. Oh, Red Pizza *opens every day.
 Daiki: Yes. The shop opens at nine.
 Mike: Can I eat pizza in the shop?
 Daiki: No, we can't eat pizza in the shop.
 Mike: *I see. What sandwich is popular at Restaurant Green?
 Daiki: Egg sandwich is popular and I like it.
 Mike: Oh, really?
 Daiki: I also like the ice cream of Purple Ice Cream.
 Mike: I like ice cream, too. What ice cream do you like at Purple Ice Cream?
 Daiki: I like the banana ice cream. The shop doesn't open on Wednesday.
 Mike: On Monday, we can buy banana ice cream at a low price there.
 Daiki: Yes.
 Mike: I want to go to Purple Ice Cream. Can you go there with me *next Monday?
 Daiki: Sure!

(4) 【会話文】の内容から、次の質問に対する答えとして最も適している食べ物を、あとのア～エから1つ選びなさい。

At Restaurant Orange, what food can people eat for free at lunch time?

- ア curry and rice
- イ salad
- ウ cake
- エ egg

最も多い誤答【ア】
43.2%(府36.6%)

《質問項目一覧》

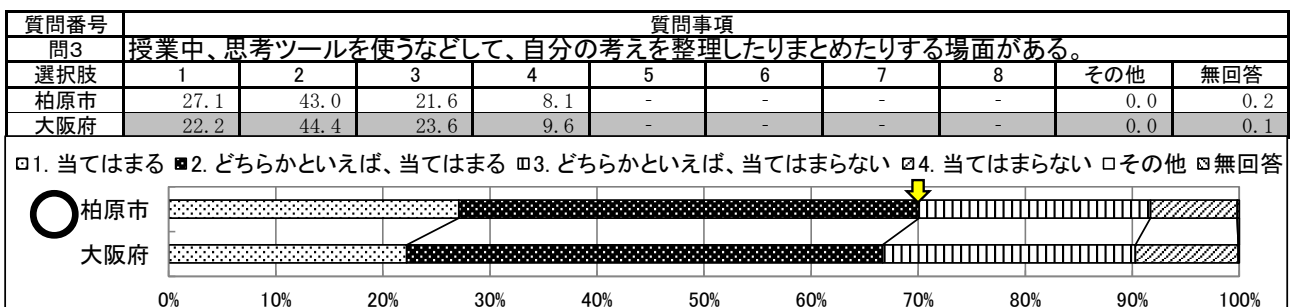
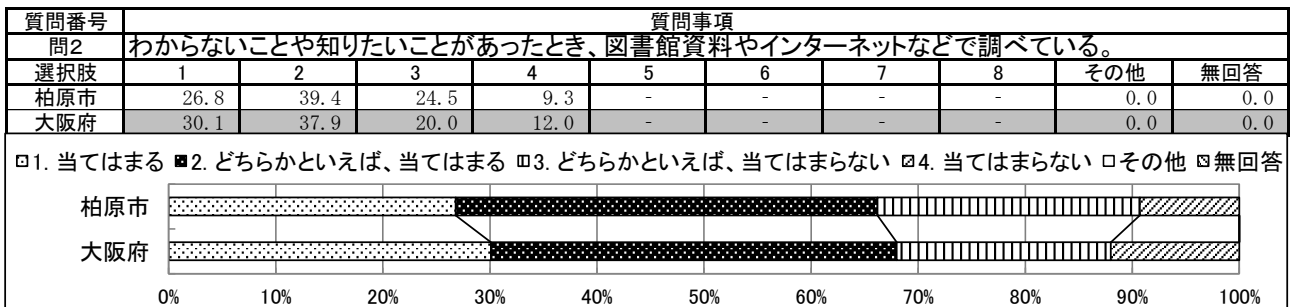
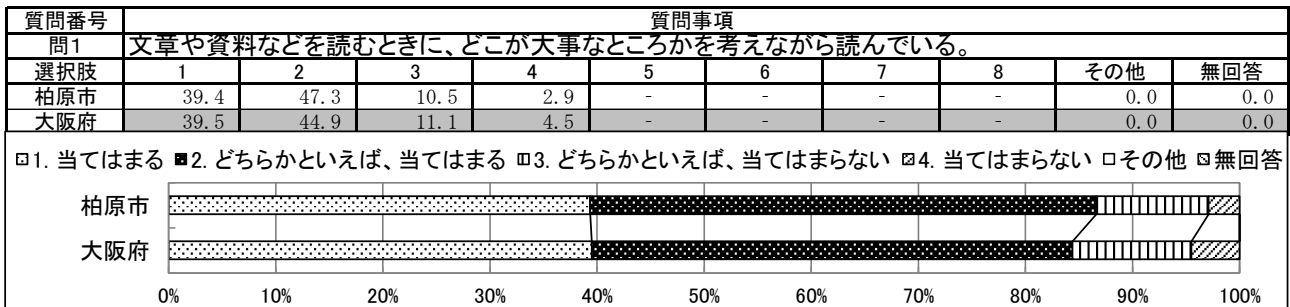
質問内容		府と比較	第3学年
問1	文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。		(▽)
問2	わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。		
問3	授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。	○	
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。 ※週1回以上	▼	(▼)
問5	家で、自分の苦手なところ、必要などころを考えて勉強している。	○	(▽)
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。	◎	
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。	○	
問8	難しいことがあっても、あきらめない。		
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。		(▽)
問10	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。 ※有無	○	(◎)
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。 ※3時間以上	▼	(▽)

- ・大阪府と比較した結果を記載：「◎」+5以上 「○」+3以上 「▽」-3以下 「▼」-5以下
- ・肯定的回答について比較
(一部時間等による比較もあり、※印で詳細を記載)

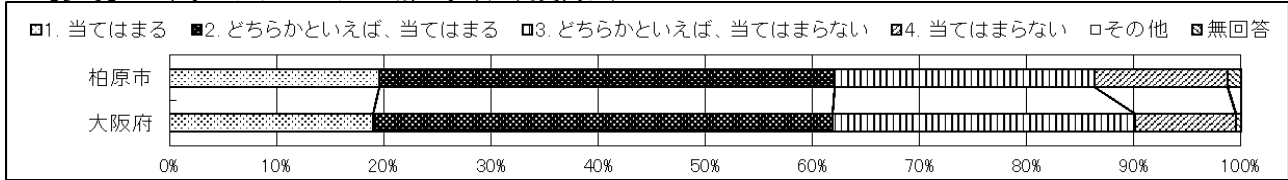
セルが塗りつぶされているもの(緑色)
教科の平均点との相関関係が
指摘されている項目(大阪府教育庁)

《結果概要》 ※大阪府との比較において特徴的なものを記載

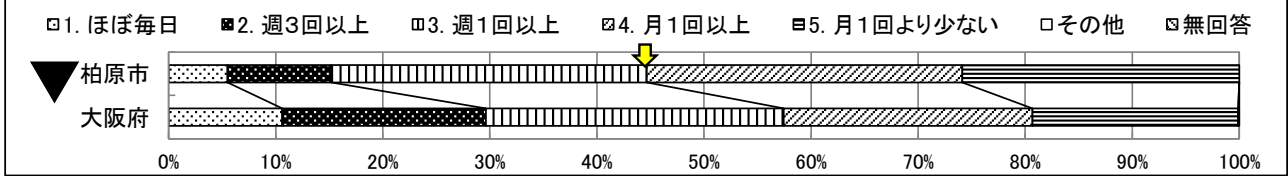
- 学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、8~9割程度の生徒が肯定的な回答をしている。
- 7割以上の生徒が、日常的に短時間であっても読書をしている。
- 自分の学習状況や学習内容を考えながら、家庭学習に取り組むことができている。
(参考)第3学年では、肯定的な回答の割合が府を下回っていた。
- 授業で自分の考えを整理したり、まとめたりする機会が確保できている。
- ▼一方で、タブレット端末を活用して考えや意見を交流する機会は少ない。
- ▼学習以外にスマートフォンやタブレットを日常的に長時間使っている生徒が多い。



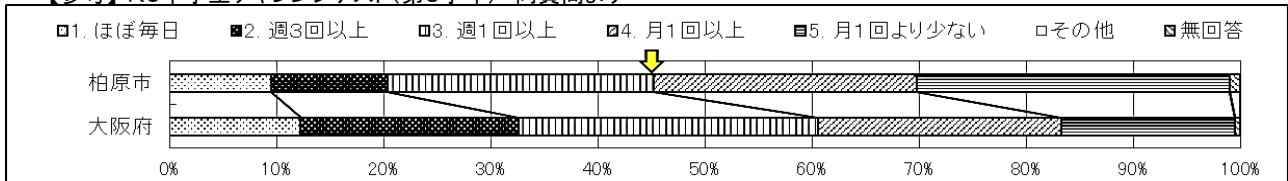
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より



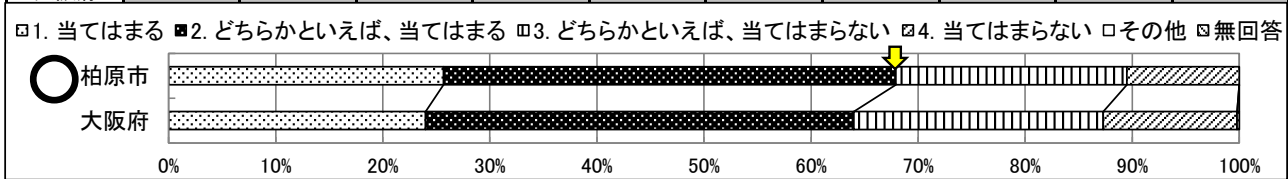
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	5.5	9.7	29.5	29.5	25.9	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	10.6	19.0	27.8	23.2	19.2	-	-	-	0.0	0.1



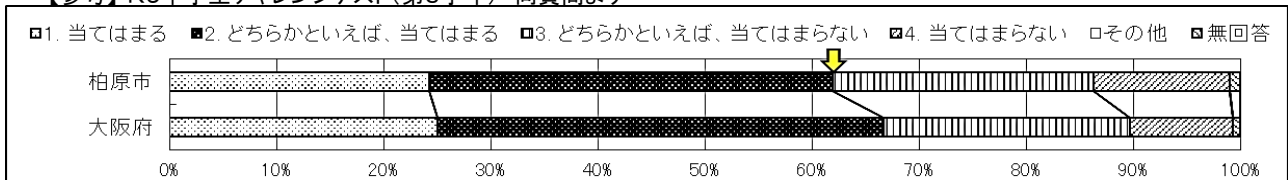
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より



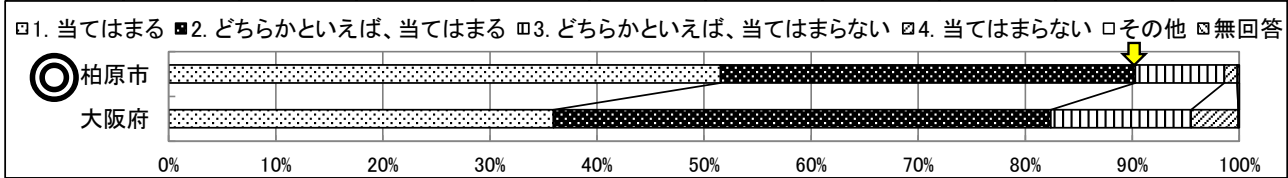
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	25.7	42.3	21.6	10.5	-	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	24.0	40.0	23.3	12.5	-	-	-	-	0.0	0.2



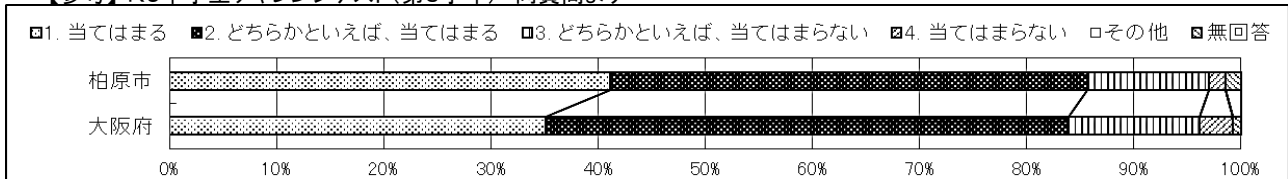
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より



質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	51.5	38.7	8.3	1.2	-	-	-	-	0.0	0.2
大阪府	35.9	46.4	13.1	4.4	-	-	-	-	0.0	0.1

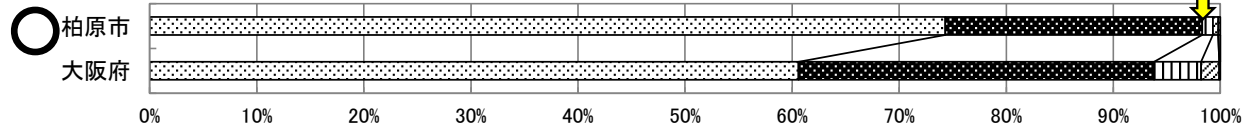


【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より



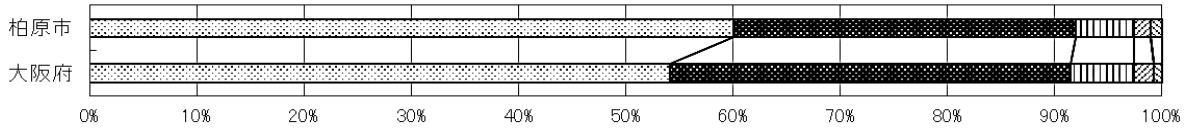
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	74.3	24.0	1.0	0.5	-	-	-	-	0.0	0.2
大阪府	60.6	33.2	4.4	1.7	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



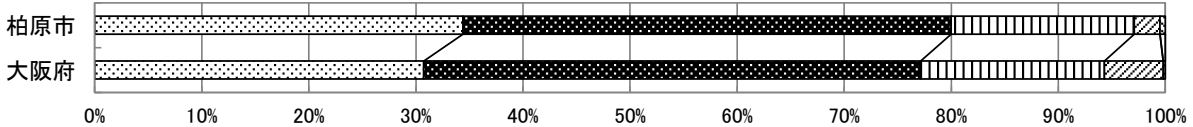
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



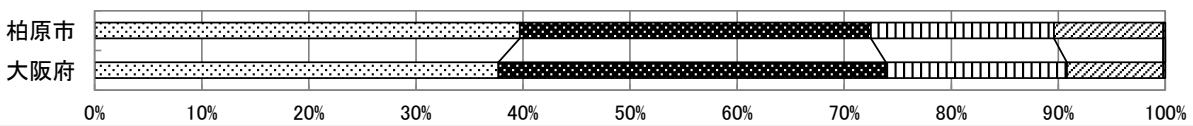
質問番号	質問事項									
問8	難しいことがあっても、あきらめない。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	34.4	45.6	17.1	2.4	-	-	-	-	0.0	0.5
大阪府	30.8	46.5	17.2	5.5	-	-	-	-	0.0	0.2

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



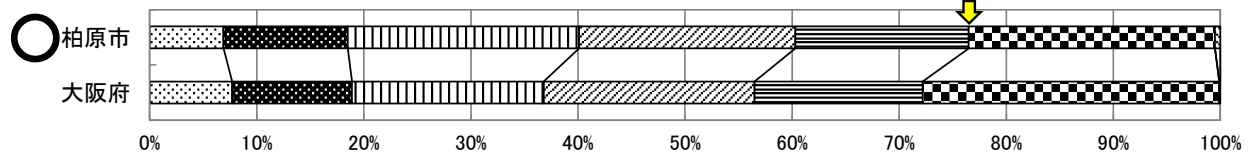
質問番号	質問事項									
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	39.7	32.8	17.1	10.2	-	-	-	-	0.0	0.2
大阪府	37.7	36.2	16.9	9.0	-	-	-	-	0.0	0.2

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



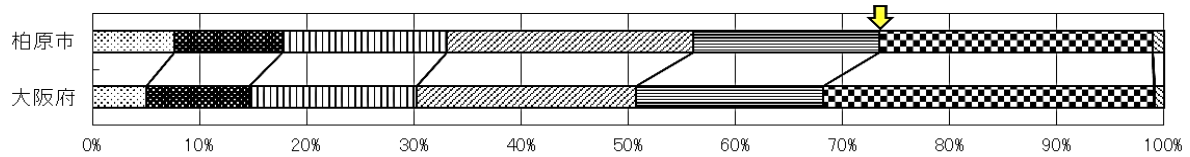
質問番号	質問事項									
問10	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	6.9	11.6	21.6	20.2	16.2	23.0	-	-	0.0	0.5
大阪府	7.7	11.2	17.9	19.7	15.7	27.7	-	-	0.0	0.1

□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない □4. 10分以上、30分より少ない □5. 10分より少ない □6. 全くしない



【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない □4. 10分以上、30分より少ない □5. 10分より少ない □6. 全くしない □その他

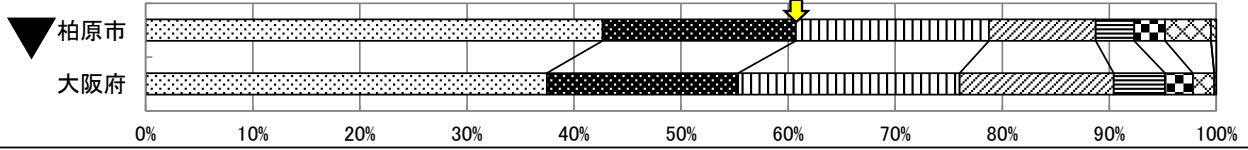


アンケート結果 《大阪府との比較》

第1学年

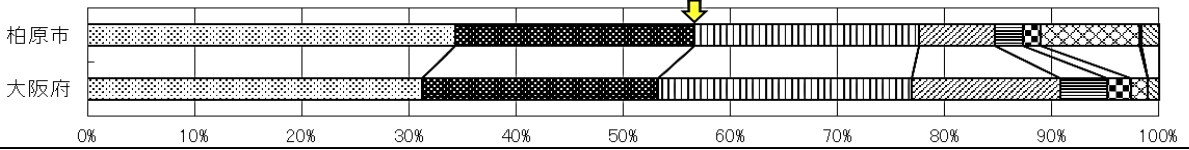
質問番号	質問事項										
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
柏原市	42.8	18.1	18.1	10.0	3.6	2.9	4.3	-	0.0	0.5	
大阪府	37.5	17.9	20.7	14.4	4.8	2.6	2.0	-	0.0	0.2	

- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 30分以上、1時間より少ない
- 6. 30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない
- その他
- 無回答



【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

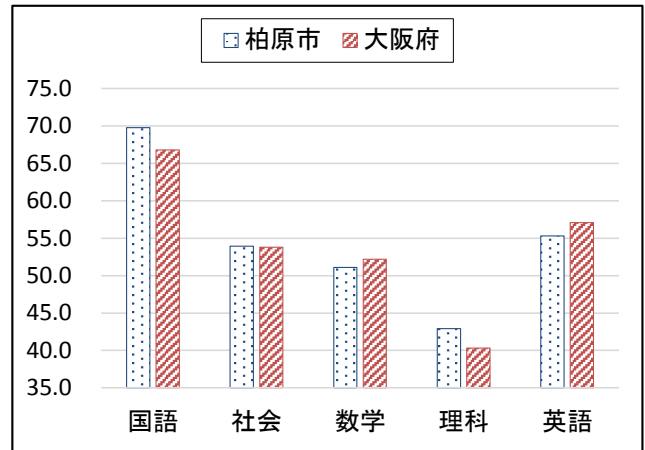
- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 30分以上、1時間より少ない
- 6. 30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない
- その他
- 無回答



① 各教科の平均点

	柏原市	大阪府	差(市-府)
国語	69.8	66.8	3.0
社会	<u>54.0</u>	<u>53.8</u>	0.2
数学	51.1	52.2	▲ 1.1
理科	42.9	40.3	2.6
英語	55.3	57.1	▲ 1.8

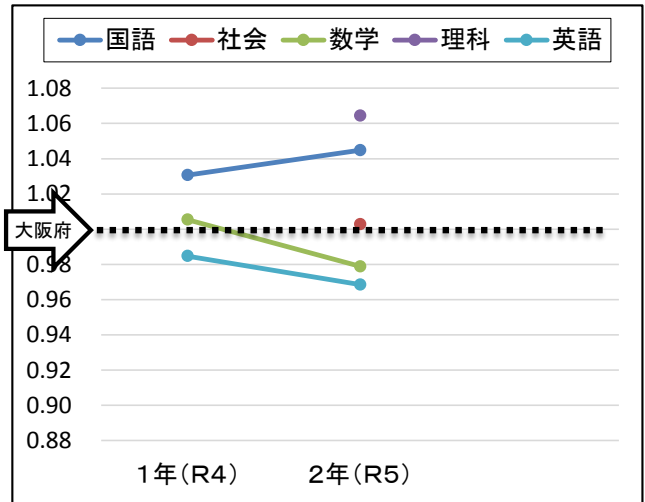
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

	1年(R4)	2年(R5)
国語	1.03	1.04
社会		<u>1.00</u>
数学	1.01	0.98
理科		1.06
英語	0.98	0.97

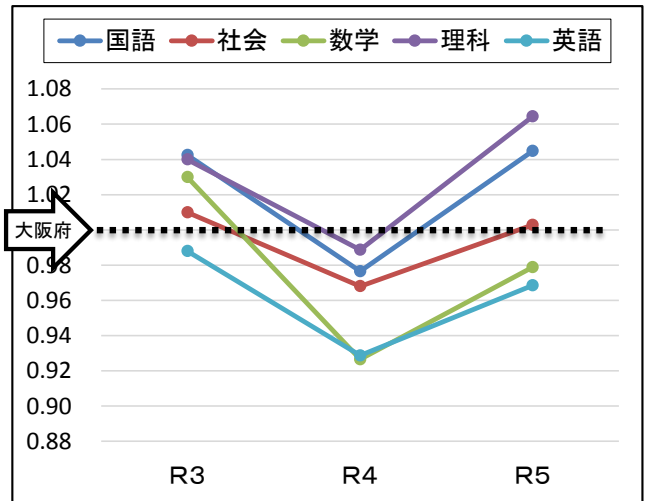
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



③ 前年度までの2年生との比較(対大阪府比)

	R3	R4	R5
国語	1.04	0.98	1.04
社会	<u>1.01</u>	<u>0.97</u>	<u>1.00</u>
数学	1.03	0.93	0.98
理科	<u>1.04</u>	<u>0.99</u>	1.06
英語	0.99	0.93	0.97

※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



① 各教科の平均点

- 国語・理科は、府の平均点を上回った。特に、国語は3.0点上回った。
- ▼数学・英語は、府の平均点を下回った。特に、英語は1.8点下回った。

② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

- 国語は、1年次よりも数値が上昇している。
- ▼数学・英語は、1年次よりも数値が低下した。特に、数学は0.03ポイント低下した。

③ 前年度までの2年生との比較(対大阪府比)

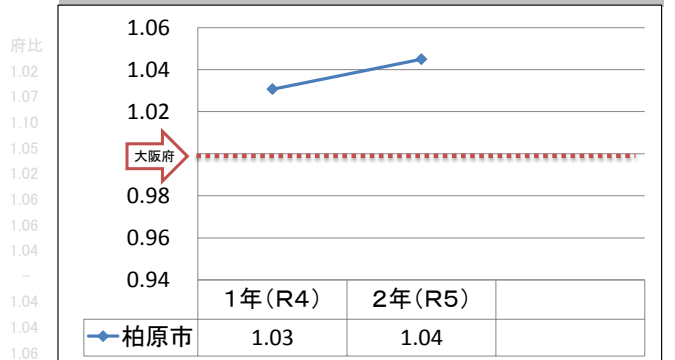
- すべての教科で昨年度よりも数値が上昇した。特に、国語は0.06ポイント、数学は0.05ポイント、英語は0.04ポイント上昇した。

	平均点
柏原市	69.8
大阪府	66.8

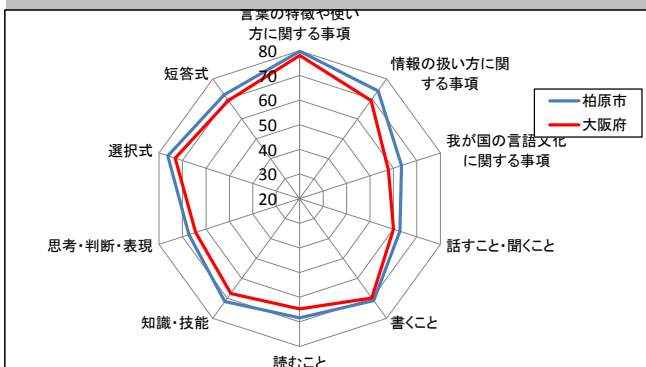
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	知識及び技能	言葉の特徴や使いに関する事項	79.9	78.1
		情報の扱いに関する事項	74.1	69.3
	思考力・判断力・表現力等	我が国の言語文化に関する事項	63.4	57.8
		話すこと・聞くこと	62.8	60.0
		書くこと	71.1	69.8
評価の観点	読むこと	68.4	64.7	
	知識・技能	71.7	67.6	
	思考・判断・表現	67.2	64.4	
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	—	—	
	選択式	76.3	73.1	
	短答式	72.2	69.3	
	記述式	42.3	39.8	

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆領域別等のレーダーチャート

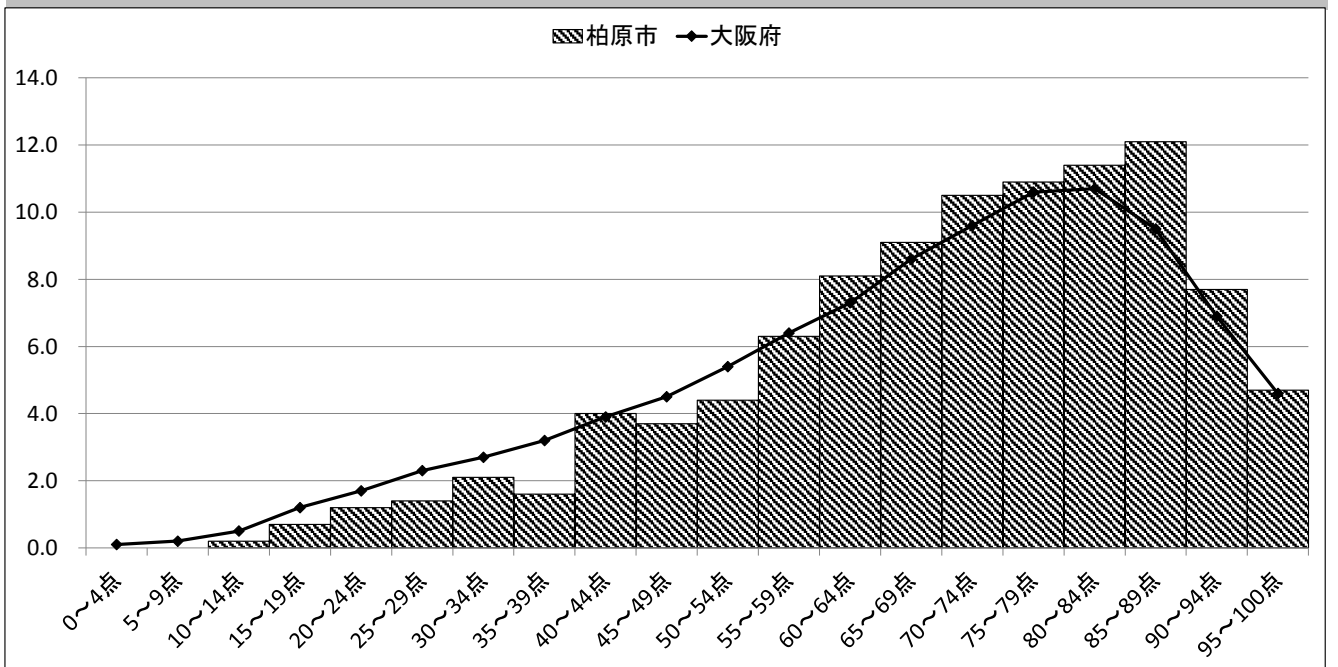


◆特徴的な傾向

○全体の平均点は、3.0点府を上回っている。
 ○得点率がすべての区分で府を上回っている。特に、「情報の扱いに関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」の領域ではそれぞれ4.8ポイント・5.6ポイント・3.7ポイント、「知識・技能」の観点では4.1ポイント、「記述式」の問題では2.5ポイント上回っている。
 ○同一生徒集団の経年変化(対府比)では、1年次より上昇している。
 ○得点別分布では、40点未満の割合が府より小さく、80点以上の割合が府より大きい。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	一	1			
問題の概要	行書の特徴を述べたものの組み合わせとして適しているものを選択する				
出題の趣旨	行書の書き方を理解している				
領域	我が国の言語文化に関する事項・読むこと	評価	知識・技能	形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	68.6	0.2
大阪府	53.9	0.3

問題

次は書写(毛筆)の授業で書いた行書の(作品)です。楷書で書いたときと比べて、○で囲まれた①、②の部分にはどのような特徴が現れていますか。その組み合わせとして最も適しているものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

正答例

ア

○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	三	6			
問題の概要	電話でのやりとりの空欄に質問したいことを書く				
出題の趣旨	目的に応じて情報を集め、伝えたいことを明確に述べることができる				
領域	情報の扱い方に関する事項/話すこと・聞くこと	評価	知識・技能 思考・判断・表現	形式	記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	60.7	15.8
大阪府	54.5	17.0

正答例

外国人観光客に向けた茶摘み体験会を始められたきっかけは何でしょうか。次に、参加した人たちはどのような反応をしていましたか。

▼正答率が最も低く、無解答率が最も高い問題

問題番号	四	4			
問題の概要	話し合いの要点を教員に伝える報告の内容を考えて書く				
出題の趣旨	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、整理して書くことができる				
領域	話すこと・聞くこと	評価	思考・判断・表現	形式	記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	18.6	40.5
大阪府	20.1	42.1

正答例

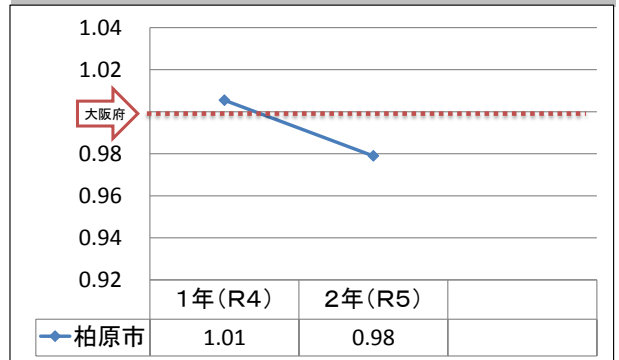
行事の楽しさと、私たちの経験やその経験から得られたことです。また、説明のときに動画を見せたいと考えているのですが、体育館の機器を使ってもよいでしょうか。

	平均点
柏原市	51.1
大阪府	52.2

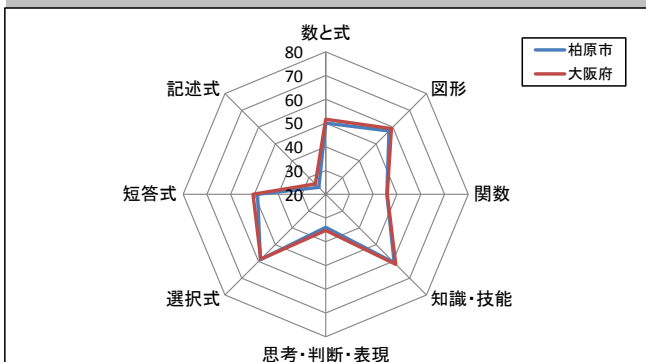
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	数と式	10	50.0	51.6	0.97
	図形	9	57.7	59.1	0.98
	関数	10	45.7	45.9	1.00
	データの活用	—	—	—	—
評価の観点	知識・技能	18	60.8	61.7	0.99
	思考・判断・表現	11	33.9	35.2	0.96
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	11	58.9	58.7	1.00
	短答式	16	48.7	50.6	0.96
	記述式	2	24.1	26.2	0.92

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆領域別等のレーダーチャート

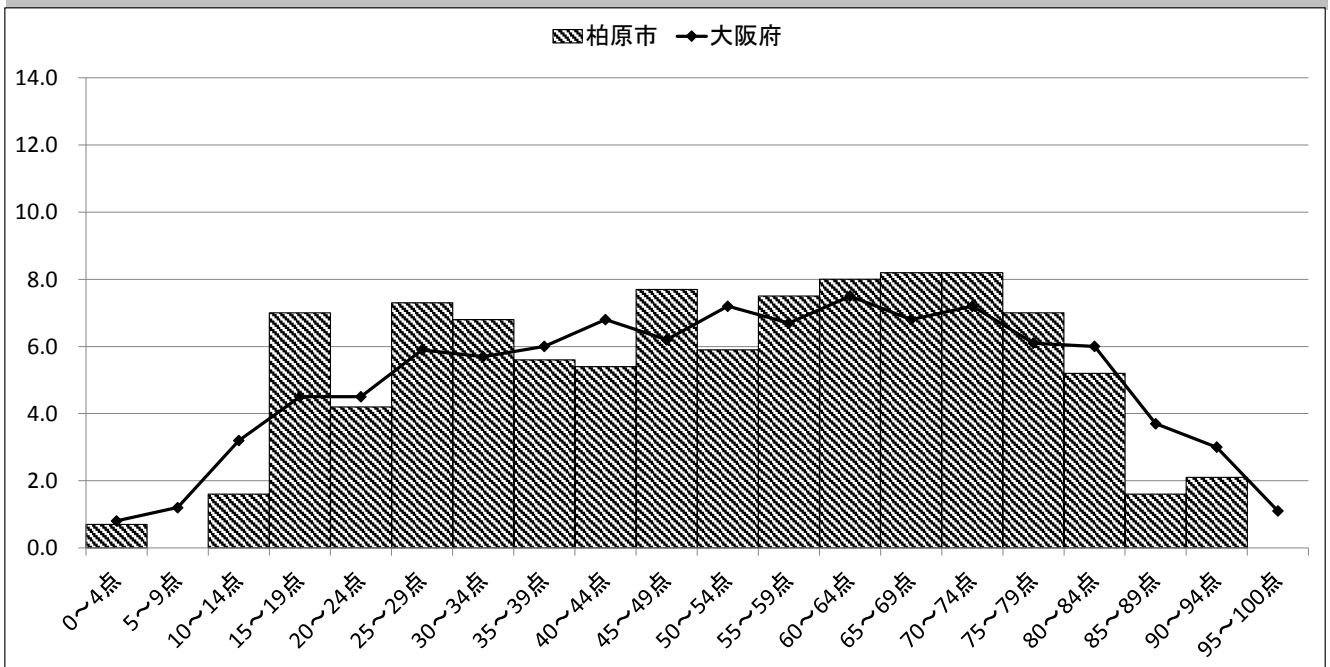


◆特徴的な傾向

- ▼全体の平均点は、1.1点府を下回っている。
- ▼得点率が多くの区分において府を下回っている。特に、「記述式」の問題では2.1ポイント下回っている。
- ▼同一生徒集団の経年変化(対比)では、1年次より低下している。
- ▼得点別分布では、15～35点程度の割合が府より大きく、80点以上の割合が府より小さい。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	3	(1)			
問題の概要	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ				
出題の趣旨	同位角の意味を理解している				
領域	図形	評価	知識・技能	形式	選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	59.0	0.0
大阪府	52.1	0.3

(1) 図1のように、2つの直線 l 、 m に1つの直線 n が交わっています。このとき、 $\angle x$ の同位角について、あとのア～オから正しいものを1つ選びなさい。

図1



- ア $\angle x$ の同位角は、 $\angle a$ である。
- イ $\angle x$ の同位角は、 $\angle b$ である。
- ウ $\angle x$ の同位角は、 $\angle c$ である。
- エ** $\angle x$ の同位角は、 $\angle d$ である。
- オ $\angle x$ の同位角は、 $\angle a$ から $\angle d$ までの中にはない。

最も多い誤答【ア】
18.0%(府18.8%)

正答例 エ

▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	6	(1)	(i)		
問題の概要	証明の中の対応する辺や角を書く				
出題の趣旨	三角形の合同条件を成り立たせる辺や角を見いだすことができる				
領域	図形	評価	知識・技能	形式	短答式

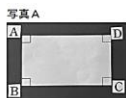
	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	26.5	9.6
大阪府	34.3	9.3

問題番号	6	(1)	(ii)		
問題の概要	結論を導くための合同な三角形の性質を書く				
出題の趣旨	合同な三角形の性質を理解している				
領域	図形	評価	知識・技能	形式	短答式

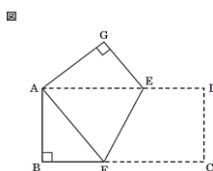
	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	34.7	18.0
大阪府	45.2	16.1

6 紙を写真Aのような4つの角が直角である四角形に切り、その四角形を四角形 ABCD とします。このとき、四角形 ABCD は、次の条件を満たす長方形になります。

$AB < BC$, $AB = DC$, $AD = BC$,
 $\angle A = \angle B = \angle C = \angle D = 90^\circ$



(1) $BF = GE$ が成り立つことを、もとの四角形(写真A)と折った図形(写真C)を重ね合わせたようすを表す図をかき、あのように証明しました。(i)、(ii)の問いに答えなさい。



証明
 $\triangle ABF$ と $\triangle AGE$ において、
四角形 ABCD を EF を折り目の線として折っているので、
 $AB = DC$ より、
 $AB = \square{\text{ア}}$ ……①
 $\angle B = \angle D = 90^\circ$ より、
 $\square{\text{イ}} = \angle G = 90^\circ$ ……②
また、 $\angle BAE = \angle FAG = 90^\circ$ より、
 $\angle BAF = 90^\circ - \angle FAE$ ……③
 $\angle GAE = 90^\circ - \angle FAE$ ……④
③、④より、
 $\angle BAF = \square{\text{ウ}}$ ……⑤
①、②、⑤から、1組の辺とその両隣の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABF \cong \triangle AGE$
合同な図形の $\square{\text{エ}}$ は等しいので、
 $BF = GE$

(i) 証明中の $\square{\text{ア}}$ には当てはまる辺を、 $\square{\text{イ}}$ 、 $\square{\text{ウ}}$ には当てはまる角をそれぞれ求めなさい。

(ii) 証明中の $\square{\text{エ}}$ に当てはまることを書きなさい。

正答例(i)

ア AG イ $\angle B$ ウ $\angle GAE$

正答例(ii)

対応する辺の長さ

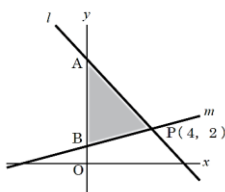
▼無解答率が最も高い問題

問題番号	4	(5)			
問題の概要	二元一次方程式のグラフの切片を利用し、三角形の面積を求める				
出題の趣旨	二元一次方程式のグラフと y 軸との交点の座標を求め、三角形の面積を求めることができる				
領域	関数	評価	思考・判断・表現	形式	短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	30.2	45.4
大阪府	34.0	42.6

(5) 図3の直線 l 、直線 m はそれぞれ二元一次方程式 $x + y - 6 = 0$ 、 $-x + 4y - 4 = 0$ のグラフで、点 $P(4, 2)$ で交わっています。直線 l と y 軸の交点を A、直線 m と y 軸の交点を B とするとき、 $\triangle PAB$ の面積を求めなさい。ただし、面積の単位は考えないものとします。

図3



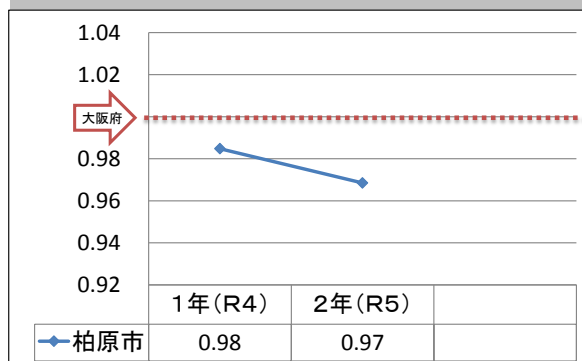
正答例 10

	平均点
柏原市	55.3
大阪府	57.1

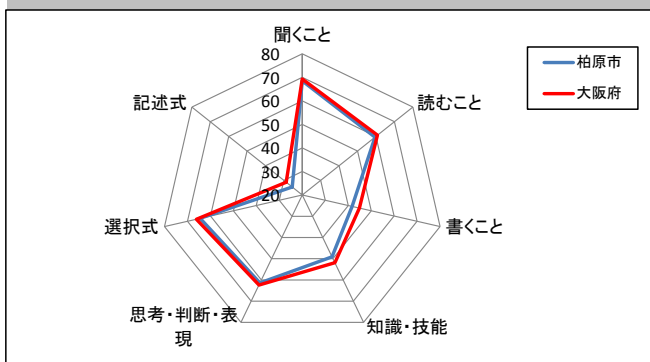
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	聞くこと	12	68.5	69.3	0.99
	読むこと	12	59.5	60.8	0.98
	話すこと〔やり取り〕	—	—	—	—
	話すこと〔発表〕	—	—	—	—
	書くこと	13	41.7	44.9	0.93
評価の観点	知識・技能	19	49.1	51.9	0.95
	思考・判断・表現	18	61.4	62.4	0.98
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	25	64.5	66.1	0.98
	短答式	4	66.1	66.1	1.00
	記述式	8	25.5	28.7	0.89

◆同一生徒集団の経年変化（対大阪府比）



◆領域別等のレーダーチャート

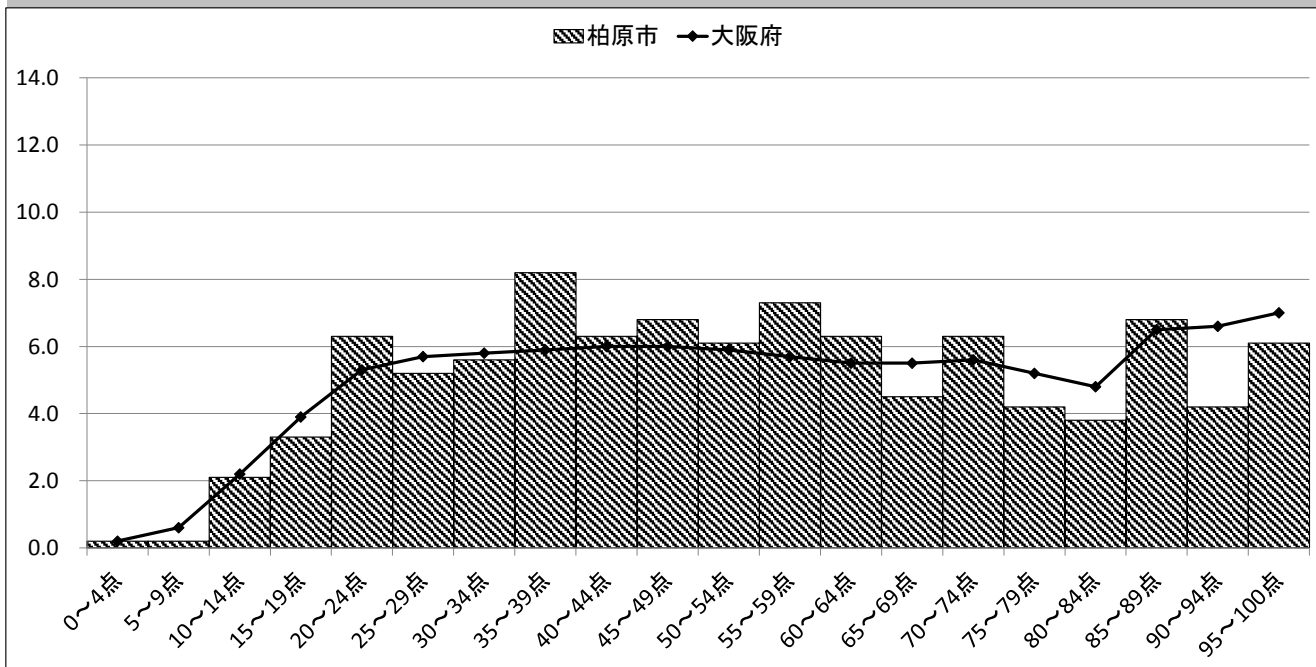


◆特徴的な傾向

- ▼全体の平均点は、1.8点府を下回っている。
- ▼得点率がすべての区分において府を下回っている。特に、「書くこと」の領域では3.2ポイント、「知識・技能」の観点では2.8ポイント、「記述式」の問題では3.2ポイント下回っている。
- ▼同一生徒集団の経年変化(対府比)では、1年次より低下している。
- ▼得点別分布では、80点以上の割合が府より小さい。

○印: 成果 ▼印: 課題

◆得点別分布の割合



○府と比較して正答率が高い問題

問題番号	9	(3)	
問題の概要	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、3段落の内容として最も適している日本語を選ぶ		
出題の趣旨	日常的話題についてのスピーチ原稿を読み、内容の概要と要点を正確に把握することができる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	59.6	1.4
大阪府	55.5	2.1

▼府と比較して正答率が低い問題

問題番号	9	(1)	
問題の概要	スピーチ原稿を読み、スピーチ原稿の内容から、問題文の空欄に入る適切な英文を選ぶ		
出題の趣旨	日常的話題についてのスピーチ原稿を読み、内容の概要と要点を正確に把握することができる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	50.7	0.7
大阪府	57.5	2.0

㊦ アキオ (Akio) は、高齢者施設 (facility for the elderly) での職場体験 (work experience) で心に残ったことについて、英語の授業でスピーチをしました。次の【スピーチ原稿】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ原稿】 ([1] ~ [4] は、段落の番号です。)

- [1] I did my work experience in a facility for the elderly last month. I enjoyed talking and singing songs with the *elderly people there. I also had lunch with them. In the *facility, a dog worked as a *staff member. So, I was surprised. The dog's name is *John.
- [2] *While I was doing my work experience, I *heard a *story about John and the elderly people *from a staff member of the facility. The staff member said, “*Before John came to the facility, the elderly people in the facility *tended to stay in their rooms. But *after John came to the facility, they *started to *come out of their rooms to *spend time with John.” I *thought this story was very nice.
- [3] I sometimes saw the *smiles of the elderly people when they were with John. For the elderly people, John didn't do any special things. John just walked to them and stayed with them. The elderly people looked happy when they talked to John and looked at John's happy face.
- [4] After my work experience, I learned about dogs like John in the library. I *knew that John is a *therapy dog. *According to the book in the library, therapy dogs *comfort people *by spending time with them. I want to know *more about therapy dogs.

- (3) 次のア～エは、【スピーチ原稿】の [1] ~ [4] の段落のうちいずれかの段落の内容を示したものです。【スピーチ原稿】の内容から、次のア～エのうち [3] 段落の内容として最も適しているものを1つ選びなさい。
- ア ジョンが高齢者施設に来る前と後における入所している高齢者の様子について
- イ 高齢者施設での職場体験後にアキオが学んだことや、今後取り組みたいことについて
- ウ 高齢者施設での職場体験でアキオが高齢者と一緒にしたことや、驚いたことについて
- エ 高齢者施設でのジョンの様子と、ジョンとの関わりのなかで見られる高齢者の表情について

正答例 エ

- (1) 【スピーチ原稿】の内容から、次の英文の () に入る文として最も適しているものを、あとのア～エから1つ選びなさい。

- In the facility for the elderly, Akio was surprised because ().
- ア the elderly people cooked lunch for Akio
- イ the elderly people learned an important thing from Akio's work experience
- ウ a dog worked in the facility as a staff member
- エ the staff members of the facility talked about Akio's work experience

正答例 ウ

最も多い誤答【イ】
23.0%(府18.4%)

▼府と比較して無解答率が高い問題

問題番号	5	(1)	
問題の概要	メモの内容と合うように、Eメールの下線部(1)に3語の英語を書く(be going toを使った未来形の文)		
出題の趣旨	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くことができる		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	32.4	28.6
大阪府	33.9	23.8

問題番号	5	(2)	
問題の概要	メモの内容と合うように、Eメールの下線部(2)に3語の英語を書く(語句be interested in ~)		
出題の趣旨	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くことができる		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	16.9	40.4
大阪府	21.0	34.4

問題番号	5	(3)	
問題の概要	メモの内容と合うように、Eメールの下線部(3)に3語の英語を書く(語句have to ~)		
出題の趣旨	与えられた情報に基づいて、指示された語数で正しい英文を書くことができる		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	23.0	36.2
大阪府	24.4	31.7

㊦ エミ (Emi) は、週末に家族と凧あげ (kite-flying) をすることになり、留学生のマイケル (Michael) を誘おうと思っています。エミは、伝えたい内容の【メモ】をもとに【Eメール】を作成し、マイケルに送りました。【メモ】をもとに【Eメール】中の下線部(1)~(4)に、それぞれ指示された語数の英語を入れて、【Eメール】を完成させなさい。

【メモ】

- ・凧あげについて知っていますか。日本では、正月休みに凧あげを楽しむ人がいます。次の土曜日に、私の家族と私は、カエデ公園で、凧あげを楽しむ予定です。
- ・あなたが凧あげに興味があるなら、凧あげを楽しみましょう。
- ・まず私の家で凧を作ります。それから、公園で凧あげを楽しみます。私と一緒に凧を作るなら、私が凧の材料を準備します。何も持ってくる必要はありません。
- ・私にあなたのお返事をください。



a kite (凧)

【Eメール】

Sunday, January 7

*From Emi to Michael

Hi, Michael!

Do you know about kite-flying? In Japan, some people enjoy kite-flying in *the New Year holidays. My family and I (1) (3語) enjoy kite-flying in Kaede Park next Saturday.

Let's enjoy kite-flying if you (2) (3語) it.

First, we'll make kites in my house. Then, we'll enjoy kite-flying in the park. If you make kites with us, I'll *prepare *materials for making kites. So you don't (3) (3語) *anything.

(4) (3語) your *reply.

Emi

正答例(1)

are going to

正答例(2)

are interested in

正答例(3)

have to bring

(2)は最も無解答率が高い問題

調査結果【社会】

※実施の有無、選択問題があるため概要のみ提示

第2学年

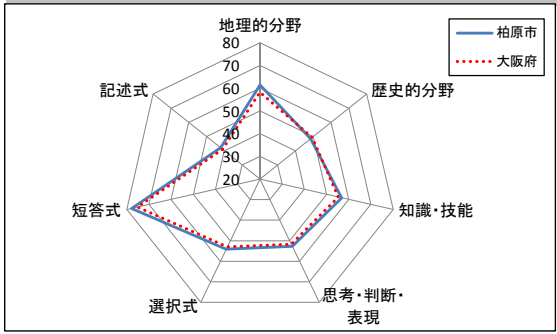
※B問題は、選択した学校が1校のため記載なし

	平均点
柏原市	55.6
大阪府	54.2

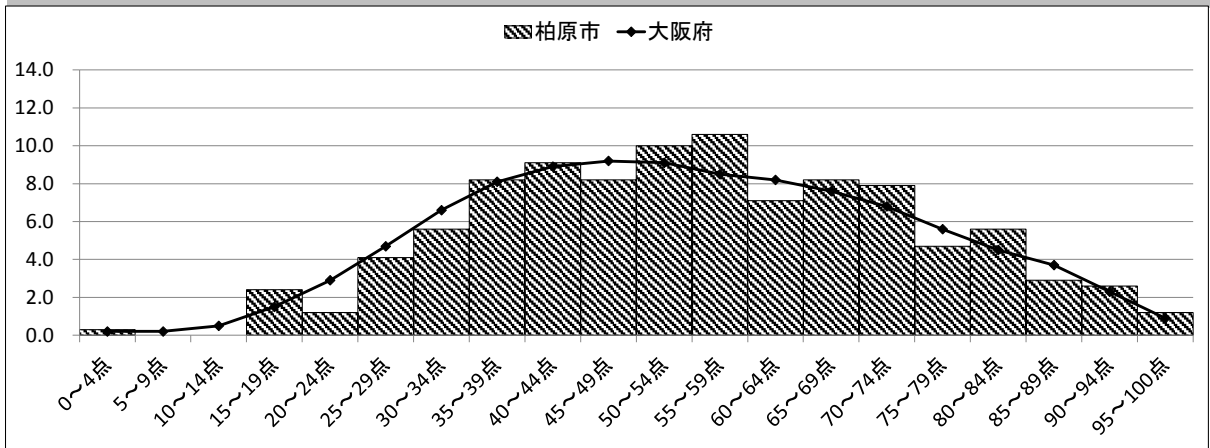
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	地理的分野	19	61.4	58.2
	歴史的分野	16	48.5	49.4
評価の観点	知識・技能	26	56.8	55.3
	思考・判断・表現	9	52.7	51.7
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	29	54.2	53.0
	短答式	4	77.8	75.2
	記述式	2	42.1	41.0

◆区別別レーダーチャート



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



調査結果【理科】

※実施の有無、選択問題があるため概要のみ提示

第2学年

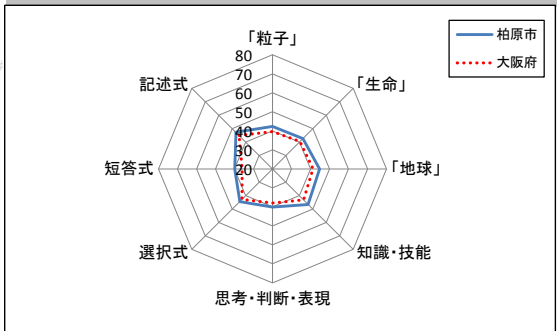
※A問題は、選択した学校がないため記載なし

	平均点
柏原市	42.9
大阪府	40.3

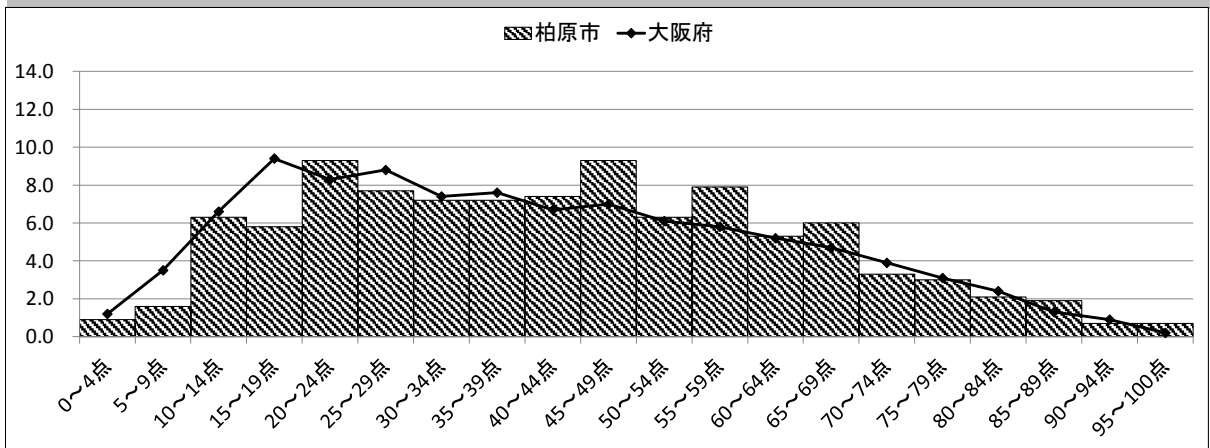
※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※	
			柏原市	大阪府
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	—	—	—
	「粒子」	12	42.3	39.6
	「生命」	12	42.6	40.4
	「地球」	6	44.7	41.3
評価の観点	知識・技能	14	46.5	43.1
	思考・判断・表現	16	40.1	38.0
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	16	44.4	42.7
	短答式	12	39.9	36.0
	記述式	2	47.3	44.9

◆区別別レーダーチャート



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



《質問項目一覧》

※本年度より質問項目が大幅に変更したため、経年変化分析はなし。

質問内容		府と比較	第3学年
問1	文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。		(▽)
問2	わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。		
問3	授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。		
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。 ※週1回以上	▼	(▼)
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。	◎	(▽)
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。		
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。		
問8	難しいことがあっても、あきらめない。	◎	
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。		(▽)
問10	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。 ※有無	◎	(◎)
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。 ※3時間以上	▽	(▽)

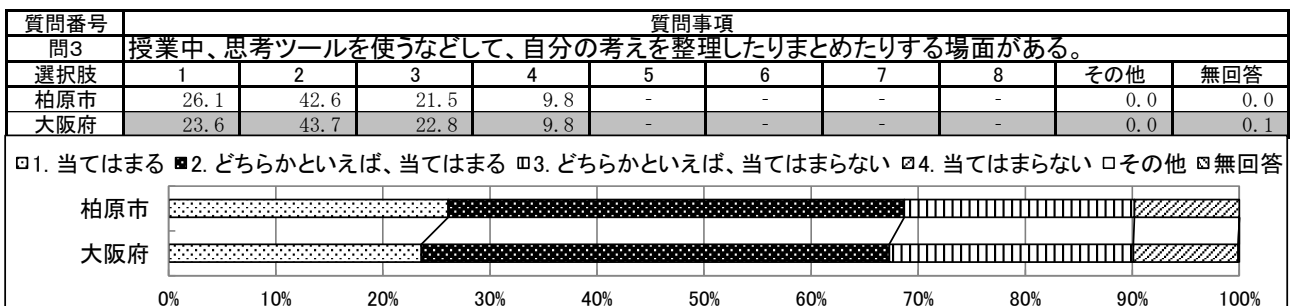
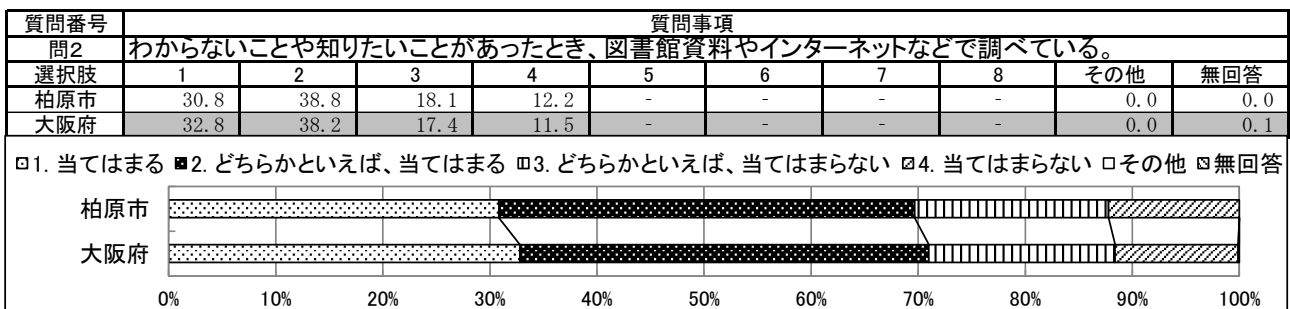
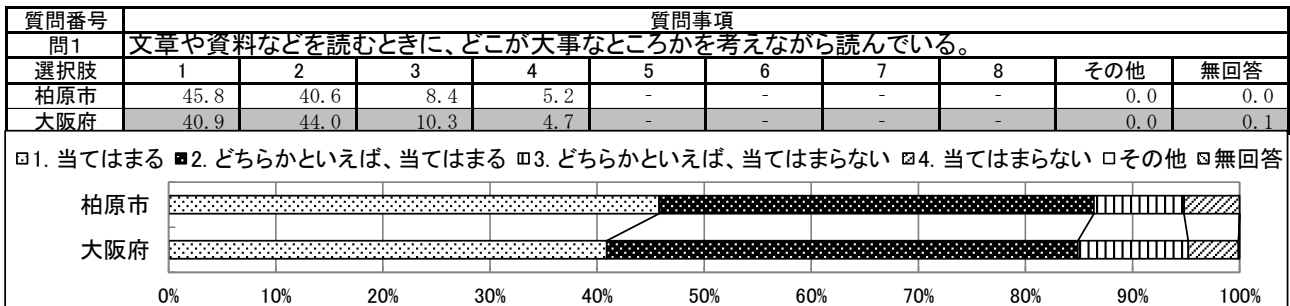
- ・大阪府と比較した結果を記載：「◎」+5以上 「○」+3以上 「▽」-3以下 「▼」-5以下
- ・肯定的回答について比較
(一部時間等による比較もあり、※印で詳細を記載)

セルが塗りつぶされているもの(緑色)
教科の平均点との相関関係が
指摘されている項目(大阪府教育庁)

《結果概要》

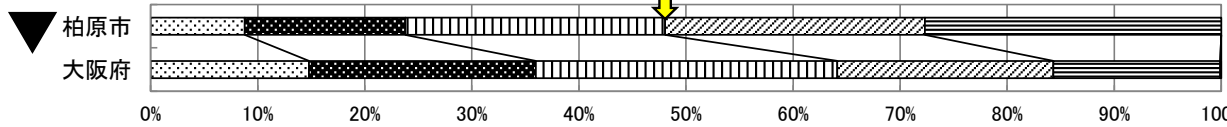
※大阪府との比較において特徴的なものを記載

- 学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、8~9割程度の生徒が肯定的な回答をしている。
- 7割以上の生徒が、日常的に短時間であっても読書をしている。
- 自分の学習状況や学習内容を考えながら、家庭学習に取り組むことができている。
(参考)第3学年では、肯定的な回答の割合が府を下回っていた。
- ▼タブレット端末を活用して考えや意見を交流する機会は少ない。
- ▼学習以外にスマートフォンやタブレットを日常的に長時間使っている生徒が多い。



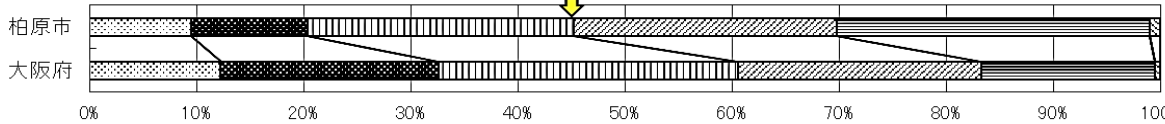
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	8.8	15.0	24.3	24.3	27.7	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	14.8	21.2	28.2	20.2	15.6	-	-	-	0.0	0.1

□1. ほぼ毎日 ■2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 ■5. 月1回より少ない □その他 □無回答



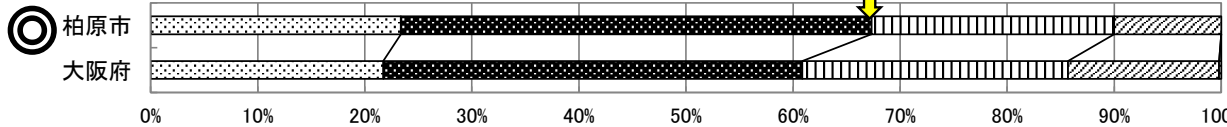
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. ほぼ毎日 ■2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 ■5. 月1回より少ない □その他 □無回答



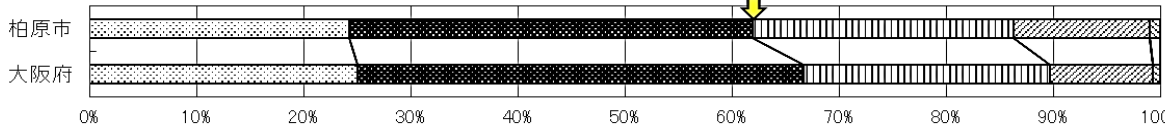
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	23.4	44.0	22.7	10.0	-	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	21.7	39.1	24.8	14.1	-	-	-	-	0.0	0.2

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



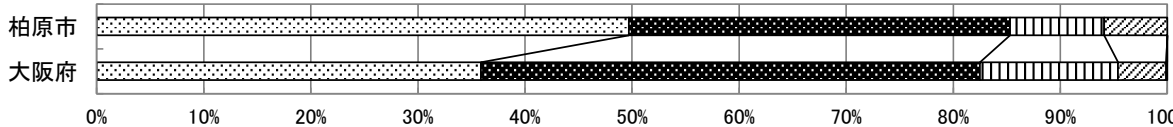
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



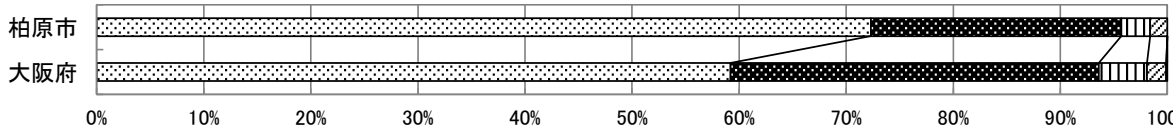
質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	49.7	35.6	8.8	5.9	-	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	35.9	46.6	12.9	4.5	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



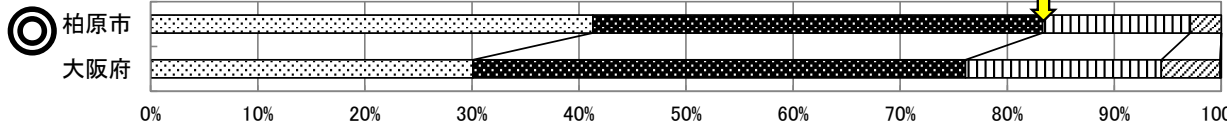
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合うことができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	72.3	23.4	2.7	1.6	-	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	59.2	34.4	4.5	1.8	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



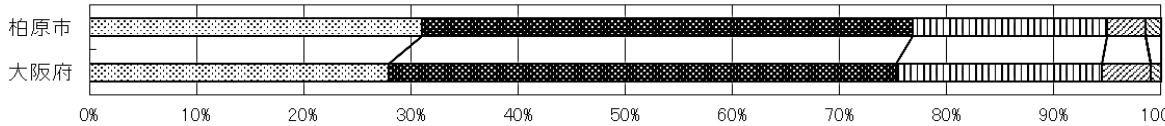
質問番号	質問事項									
問8	難しいことがあっても、あきらめない。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	41.3	42.0	13.8	2.9	-	-	-	-	0.0	0.0
大阪府	30.1	46.0	18.3	5.5	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



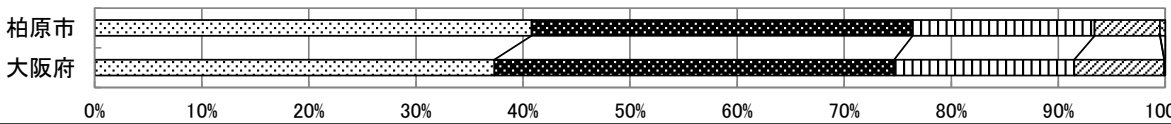
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



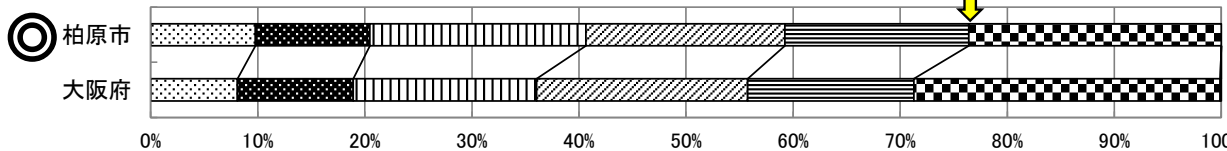
質問番号	質問事項									
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	40.8	35.6	17.0	6.1	-	-	-	-	0.0	0.5
大阪府	37.3	37.3	16.8	8.4	-	-	-	-	0.0	0.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



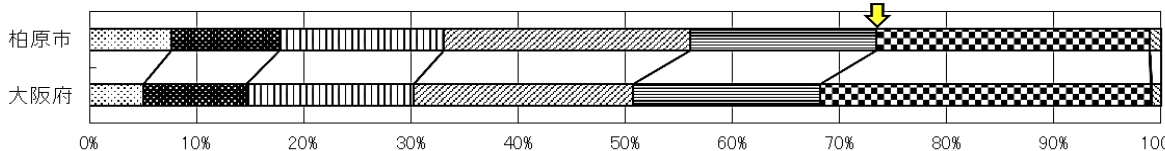
質問番号	質問事項									
問10	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
柏原市	9.8	10.7	20.2	18.6	17.2	23.6	-	-	0.0	0.0
大阪府	8.1	10.8	17.1	19.7	15.5	28.6	-	-	0.0	0.1

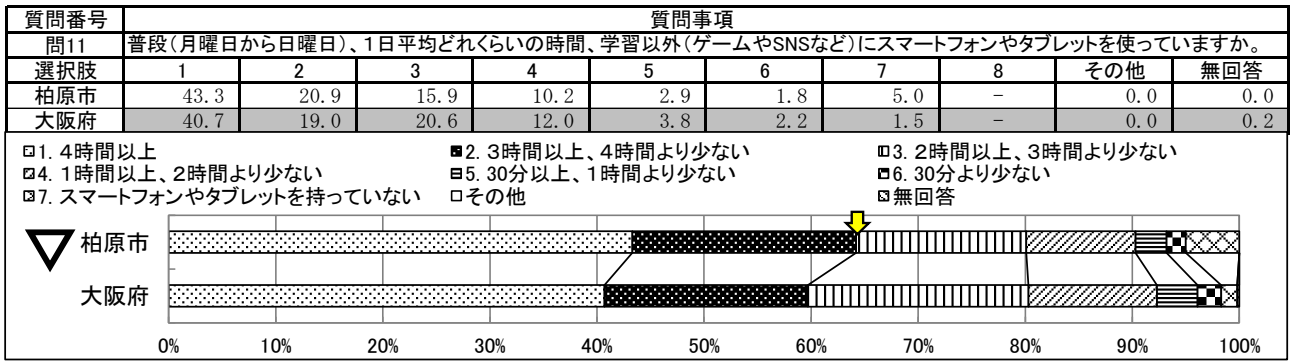
□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない
 □4. 10分以上、30分より少ない □5. 10分より少ない □6. 全くしない



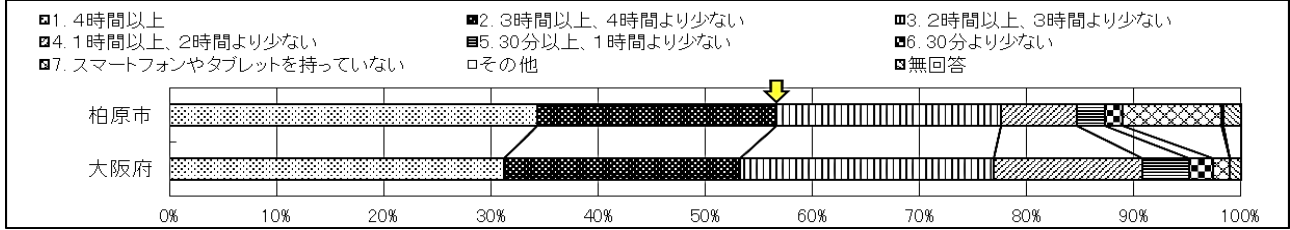
【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より

□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない □4. 10分以上、30分より少ない
 □5. 10分より少ない □6. 全くしない □その他 □無回答





【参考】R5中学生チャレンジテスト(第3学年) 同質問より



今回の調査結果を受けて（総括）

《各教科の結果より》

※社会・理科で選択された問題が異なる場合（下線）は、各結果の平均値を示している。

① 平均点

		国語	社会	数学	理科	英語
1年	柏原市	62.0		53.2		61.1
	大阪府	60.8		54.7		64.1
2年	柏原市	69.8	<u>54.0</u>	51.1	42.9	55.3
	大阪府	66.8	<u>53.8</u>	52.2	40.3	57.1

② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

		国語	社会	数学	理科	英語
2年	1年(R4)	1.03		1.01		0.98
	2年(R5)	1.04	<u>1.00</u>	0.98	1.06	0.97

③ 前年度までの学年との比較(対大阪府比)

		国語	社会	数学	理科	英語
1年	R3	0.99		0.94		0.97
	R4	1.03		1.01		0.98
	R5	1.02		0.97		0.95
2年	R3	1.04	<u>1.01</u>	1.03	<u>1.04</u>	0.99
	R4	0.98	<u>0.97</u>	0.93	<u>0.99</u>	0.93
	R5	1.04	<u>1.00</u>	0.98	1.06	0.97

《アンケート結果より》

【1・2学年共通】

- 学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、8～9割程度の生徒が肯定的な回答をしている。
- 7割以上の生徒が、日常的に短時間であっても読書をしている。
- 自分の学習状況や学習内容を考えながら、家庭学習に取り組むことができている。
- ▼タブレット端末を活用して考えや意見を交流する機会は少ない。
- ▼学習以外にスマートフォンやタブレットを日常的に長時間使っている生徒が多い。

【1年】

- 授業で自分の考えを整理したり、まとめたりする機会が確保できている。

《今後の取組み》

- ・調査結果及び分析内容を市域全体で共有し、学校は自校の実態に応じた分析に基づいた取組みを行う。
- ・学力向上推進委員会で掲げる「思考力・判断力・表現力の育成～主体的に学び、自ら考え、その考えや思いを表現できる子どもを育てる」を基盤に、市の方向性や学校の取組み内容の共有、実践発表等に基づいた授業づくりの研究を推進する。
- ・とりわけ「複数の情報から必要な情報を集約する」「必要な情報に基づき自分の考えを表現する」「主体的な家庭学習や自主学習につながる」活動を授業に取り入れることを意識する。
- ・ICT活用については、各研修会において効果的な活用方法を共有し、特に児童生徒自身の活用を推進する。ただし、これまでの一斉授業に単純にICT活用を加えるのではなく、「授業改善(個別最適な学び、主体的・対話的で深い学びの実現等)」に伴って必然的にICT活用が浸透することが大切である。
- ・次年度は、引き続き学力向上推進委員会を各学校の主体的な研修の場とし、学校の取組みを発信する機会を多く設けるとともに、他市町村の学校公開への参加を促し、学校の取組みを推進することをめざす。

《家庭にお願いすること》

① 基本的な生活習慣の定着

- ・発達段階に応じた適切な睡眠を取るよう促し、適切な生活リズムを意図的につくる。
- ・朝ごはんを食べるように促し、学校での学習の質の向上につなげる。

② 家庭学習・主体的な学びへの支援

- ・発達段階に応じて家庭学習の適切な時間を定め、学習習慣を定着させる。
- ・宿題だけでなく、興味関心に基づき、子どもが主体的に家庭でも学習できるように支援する。

③ スマートフォンやPC、ゲーム等の使用について

- ・スマートフォンやPC、ゲーム等の使用状況を把握し、時間や使い方について適切なルールを決める。
- ・タブレット端末等のICT機器を活用した学びができるように支援する。